



地域の復興に貢献する 石巻ブロック災害廃棄物処理業務 現場だより

鹿島・清水・西松・佐藤・飛島・竹中土木
・若築・橋本・遠藤 特定共同企業体
石巻ブロック災害廃棄物処理業務JV事務所
〒986-0841 石巻市雲雀野町2-15-3
TEL 0225-23-7701 FAX 0225-23-7707

2012年10月1日発行 第10号 (毎月1回発行)

秋の交通安全 -めだって広報-

9月21日から30日までの10日間、秋の交通安全県民総ぐるみ運動「めだって広報」のPR活動を行いました。現場前道路路を通行する車両に対し、交通安全をPRするのが主な活動内容です。当現場ではダンプトラックを中心とした大型車両が数多く出入りします。交通安全ルールへの遵守と正しい交通マナーによる運行を義務付けております。交通事故を含めた関係車両の無事故・無災害も石巻ブロックJVの大きな目標の一つとなっています。



めだって広報に参加したJV職員・協力業者



がれきが積み込まれたコンテナ



コンテナを船に積み込む様子

北九州市には計2万3000tのがれきを搬出する計画で、受け入れられているがれきは、北九州市内の3つの焼却施設で焼却処理され、焼却後に発生する焼却灰は市内の最終処分場で埋立処理される予定です。広域処理が進んでいくことでがれき処理が早期に完了し、被災地の本格的な復興へとつながっていくことを期待しています。

9月10日、当現場で中間処理された可燃性がれきの北九州市への搬出が始まりました。西日本に震災がれきが搬出されるのは北九州市が初めてとなります。搬出されるがれきは、粗選別、破碎選別を経て可燃物のみを選別されたのち、再度重機と手作業による不燃物の除去を行っており、念入りの選別過程が繰り返し行われたがれきとなっています。可燃物を積み込んだ110個のコンテナ(がれき量は約600t、800t)を船に積み込み、海上保安庁の護衛船に見守られながら、16時50分に仙台港を出発しました。その後も週1回のペースで北九州市に搬出されております。

北九州市へ搬出開始



コンテナを積み込み北九州市へ向かう船

散水装置を備えた車両で、撒水車(さつすいしゃ)とも呼ばれます。道路の清掃などに使われますが、当現場では粉塵の飛散防止にも役立っています。



散水車

働く機械シリーズ⑧

トロンメル
鉱物分粒機
の一種で、円筒状の本体を回転させることによって、土砂から異物を除去して、サイズ毎に選別することが可能です。



関係者が参列した慰霊供養の様子

震災から1年半を迎えて

東日本大震災から1年6ヶ月が経過した9月11日、宮城県職員、石巻市職員、JV職員、各協力会社の参列の下、A・B両ヤード内で慰霊法要を執り行いました。当日は法山寺の御住職を現場にお招きし、参列者一同震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りしました。石巻ブロックJVでは、今後、Aヤード内に慰霊碑を建立し、毎月11日に慰霊の儀式を執り行うこととしています。

- 10月の主な予定—
- 10/1～ 全国労働衛生週間 (10/7まで)
 - 10/2 安全大会
 - 10/3 石巻市企画部秘書課広報部
 - 10/3 全国中小建設業協会愛知県支部
 - 10/3 山形県置賜広域行政事務組合
 - 10/4 石巻市議会環境教育委員会
 - 10/5 青年海外協力隊
 - 10/5 国交省九州地方整備局
 - 10/6 プロポーザル審査委員会
 - 10/25 暴排・災害防止協議会

が作業の手を止めて、黙祷を捧げました。がれきは被災者及び犠牲になった方々の貴重な財産であったことを忘れずに、今後のがれき処理業務に邁進していきたくて考えています。



黙祷する職員一同

①出身地 ②主な職歴 ③趣味・特技 ④抱負

JV職員紹介

①宮城県
②RC構造、鉄骨構造の建築工事関係25年。
③釣り、フライフィッシング、ルアーフィッシング
④地元宮城県で石巻ブロックの復旧、復興に携わり微力ながら少しでも貢献出来るように頑張っています。

工事係 高橋 充

①愛知県名古屋市
②ダム、高速道路、火力発電所等。入社以来、主に東北中心。
③スポーツ観戦。(見るだけ)
④10年程前に、仕事で石巻に住んでいました。以前の石巻に一日も早く戻るよう、皆さんと共に頑張ります。

次長 長谷川 敬寿

①兵庫県豊岡市
②通算すると現場よりも店内勤務の方が多いです。組合専従で日建協にも3年間出向していました。
③釣り(大休いつもボウズです)
アマチュア無線(極たまにリグはハンディーのみ)
④初めての東北勤務なので、東北の人や自然にいつぱい触れて、良いところをたくさん自分の中に吸収したいです。

次長 南條 志文